

近畿地区の活動報告：近畿本部生物工学部会設立総会

近畿地区の拡大幹事会では、近畿本部内に生物工学部会の設立について議論しておりましたが、ついに10月22日（土）に近畿本部（大阪市西区）にて生物工学部会の設立総会が開催されるに至りました。これもひとえに皆様方のご支援、ご協力の賜ものと深く感謝しております。統括本部からは佐野理事、東田部会長及び柿谷幹事にご参加頂き、全員で19名もの方々が出席しました（うち、WEB参加9名）。

総会では、まず河野会員が設立挨拶/設立経緯を説明した後に、総会議長を含む幹事会名簿案が参加者多数により承認されました。結果、以下の役割分担で近畿地区は運営していくことになりました。よろしくお願ひ致します。

（部会長）河野会員（副部会長）須永会員（幹事長）山口会員（会計）伊東会員（幹事）木村
ついで、「近畿本部生物工学部会会則案」と「令和4年度活動方針」について議論しました。いずれの議案も質疑応答時の意見を反映させることを条件に承認されました。

記念講演会では、東田部会長より「IPD時代の到来を見据えた部会の役割」の演題で講演が行われました。IPD（Initial Professional Development；初期専門能力開発）の定義からIPDシステムが現実的に機能するための方策について提言を頂きました。また、佐野理事からご祝辞を頂き、河野部会長より閉会の挨拶の際に近畿本部本部長の田岡氏からの祝辞が読み上げられました。

佐野理事からのご祝辞にもありましたが、今年は日本生物工学会の100周年且つ近畿本部主管で、奈良県で技術士全国大会が開催される節目の年になります。その記念の年に近畿本部に生物工学部会が設立されるのは感慨深いことだと思います。

これからは、無理をせずできる範囲内で活動をスタートさせ、自分達のやりたいことを模索していけたらと考えています。引き続きご支援、ご協力を賜りますようどうぞよろしくお願い致します。

（近畿地区幹事一同）

